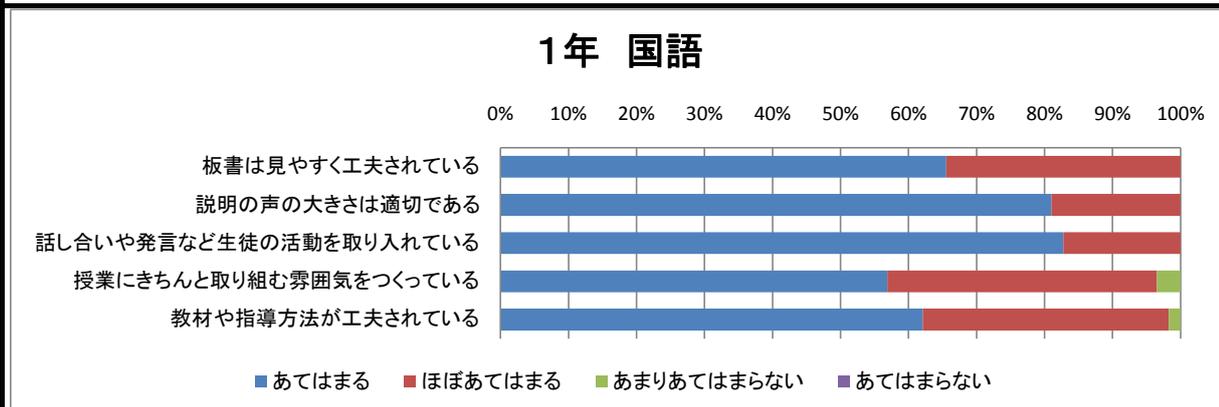


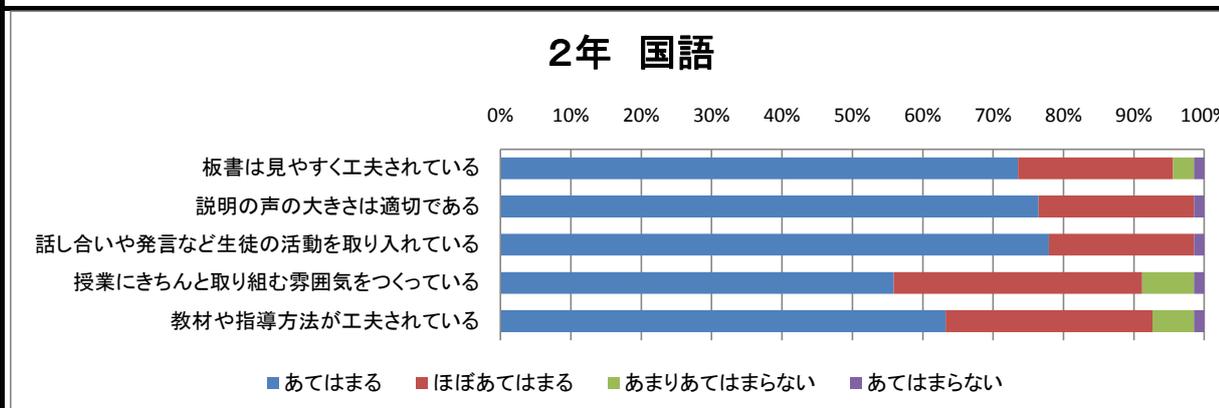
H30年度 第2学期 生徒授業評価アンケートより

教科	国語	重点目標	文章を読み説く力と書く力の育成
----	-----------	------	-----------------

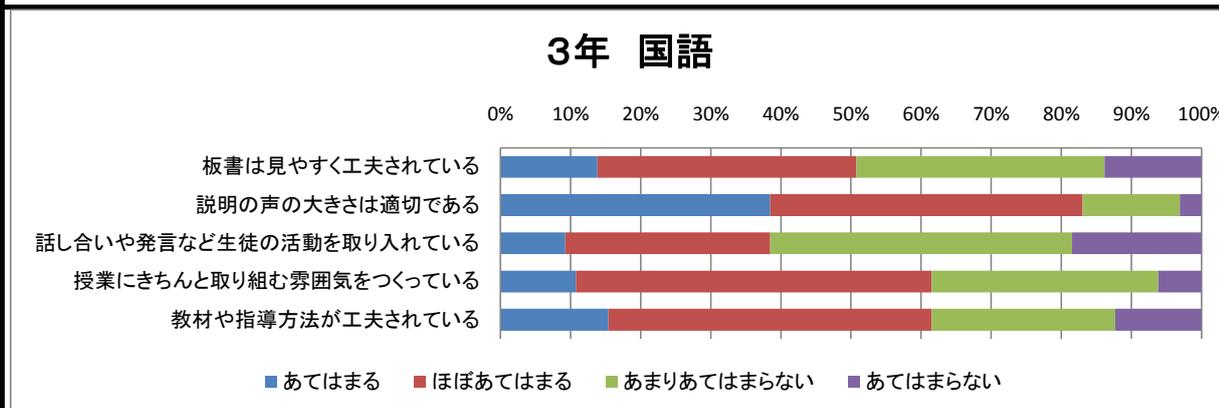
学習指導に関する現状と課題(二学期・生徒による授業評価アンケートより)



分析
今学期も どの項目も「あてはまる」「ほぼあてはまる」が95%を超えており、特に3項目においては肯定的評価が100%であることから、生徒が意欲的に授業に取り組んでいることがわかる。意識的に「話し合い」「意見交換」「発言」という授業活動を多く取り入れているが、その過程でどうしても騒がしくなることがあり、それを否定的に捉える生徒もいるのかもしれない。教科の特性からあまり、IC機器を取り入れる授業をしていないが、そういった指導方法も今後必要になるかもしれない。



分析
どの項目も「あてはまる」「ほぼあてはまる」が90%を超えており、生徒が意欲的に授業に取り組んでいることがわかる。1学期と比較すると、「板書の工夫」「話し合い活動」「指導方法の工夫」の項目については「あてはまる」が10%以上上がっており、1学期からの改善点が成果をあげていることがわかった。今後も継続して、生徒が楽しく主体的に学べる授業づくりをしていきたい。「授業に取り組む雰囲気」が他の項目につれてやや低い。自分では授業規律をかなり意識しているつもりだが、生徒との温度差を感じた。生徒がきちんと取り組める雰囲気を作れるよう努めていく。



分析
多くの項目で肯定的な回答がおおよそ60%以下となっていることを真摯に受け止めていきたい。特に、本校で重点的に取り入れようとしている話し合い活動の点については改善していかなければいけないと考える。残りの時間は少ないが、生徒にとって生きる力となるように、話し合い活動の時間確保や教材を工夫していきたい。